

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第21号 平成22年 7月10日

流れを変えなかった田島の捕球！

先発林完投勝利！ 接戦を制す！

	1	2	3	4	5	6	7	R
P	0	0	0	0	0	1	0	1
G	0	0	1	1	0	1	*	3



7 / 10 (土) 岡村公園野球場に出向き、ワイルドピッチと2つの勝利を1試合に掛け、KSC公式戦を戦った。一つは、2009プレーオフ準決勝、そして、もう一つは今期の予選である。戦績は過去2戦2敗を喫しているだけに、3度目の正直で、是が非でも勝利をゲットしたいものである。そんな大事なゲームのマウンドを任されたのは、未だ今期負け知らずのサウスボー@林であった。その立ち上がり、二者を空振りの三振に捕り、今までに無い、最高の立ち上がりを見せた。気が付けば、4回まで、ノーヒットノーランの好投を見せ、三塁すら踏ませぬ、ピッチングであった。ゲームが動いたのは、3回の我がチームの攻撃、二死後の先頭@智が残走者で、一塁に。その後間髪入れずに、二盗・三盗を決め、二死三塁の得点チャンス。続く哲也が四球を選択、二死一・三塁、深沢の初球に哲也が二盗を試み、ランダムプレーを演出、ある程度、ボールを引き付けた後、三塁走者@智がホームインし、無安打で先制点をゲットした。続く4回の攻撃、先頭たかあきが、ショートのエラーで出塁、その後これまた、二盗・三盗を決め、2点目のチャンス。ここで佐藤が打った打球は遊内野安打、この間にたかあきが、ホームインし、2点目を上げた。6回には、先頭のたかあきが四球で出塁、その後、PBと盗塁で、無死三塁、次打者は倒れ、一死三塁、打者山田が打った打球はややぼての三ゴロ、この打球に好スタートを切ったが、相手野手の送球も際どい送球でホームへ、しかし、たかあきは、ただ滑るのではなく、相手捕手を良く見て、交わして・潜って、ベースにタッチ、結果はセーフ、3点目を上げた。

このゲームで拙かったのは、サードの守備、それ程慌てる場面でも無いにも関わらず、送球エラーで、林の完封を逸してしまった。慌てない・慌てない、沈着なプレーが必要ですね・・・(しかし、本人は相当凹んだ模様) **それから、幾つかの珍プレー？**

智の三打席目は、初球をクリーンヒット、しかし、結果は一塁アウトになった。ベンチの声で相手が気づき、アピールプレーかと、ゲーム中は、誰も思ったが、その後、ビデオと写真を見たところ、一番身近な相手一塁手がベースを踏んでいない事を、しっかりと確認していた。その彼の声により、外野から一塁にボールが帰り、ベースを踏んでアウトである。そう、チーム初珍記録、ベースの踏み忘れが発生したのである。本人は、「踏んだ」と言っているが、今となっては、次に1本打れば良いだけ！と気持ちを切り替えて欲しい。次は、林の内野安打の打球が、誰もがセーフと判断したにも関わらず、アウトと宣告された。これは、若しかして、たかあきの好走塁の代償かも知れない、と感じた。そうは言ってもジャッジは公平に！ですね。

最後に、今日のゲームは、安打も失策数も同数、ましてや、うちのクリーンヒットは哲也だけ、勝負の明暗を分けたのは、盗塁数の差であった。相手が4に対して、うちは10。また、先制のきっかけの智の盗塁、誰もが抜かれたと思った右飛球をキャッチした田島のプレーも光ったものがあった。明日は、区民大会だ、このチーム一丸の勢いで初の3回戦進出を目指して頑張ろう！